

たざわがしら
小国町 田沢頭

雑穀栽培で地域おこし

きっかけは「農地水」。
荒れた農地を雑穀が救う



田沢頭の地域づくり仕掛人 石垣正憲さん
田沢頭自治会長
田沢頭グリーンネット事務局長(農地水活動組織)

小国町田沢頭集落は、町の中心部となるJR米坂線小国駅から北方に約2km、山沿いに開けた集落である。
田沢頭では、戦前からの戸主制度により、閉鎖的で自治活動が停滞し、連帯意識の低下が懸念されていた。その頃「田んぼは四角く心は丸く」と言われる、ほ場整備が始まり、昭和54年には「田沢頭自治会」を立ち上げ、全住民が参加するむらづくりをスタートさせた。
平成19年には、農地や農業用水等の保全、農村環境を向上させる活動に地域全体で取り組む「農地・水・環境保全向上対策」を導入し、自治会のテーマである「みんなてつくるうなごやかなむら」を目指して活動を進めている。



農地・水・環境保全向上対策の導入にあたっては、全住民が参加し対策の推進母体となる「田沢頭グリーンネット(通称:タグネット)」を発足し、住民総参加の体制づくりを進めた。
まず、住民アンケートを実施。提案の出された150の項目を、役員会や集落内の各団体が集まったワークショップで集約し、新たな活動計画として取りまとめた。取りまとめの際には、役割分担、実施時期等を明確にすることに留意した。
やるべきことが整理されているため、計画的にそして継続的に活動が実践されている。これが、この組織の特徴である。年齢差や男女差、農家、非農家の垣根なく参加する人みんなが仲良く前向きに取り組んでいる。
耕作されない遊休農地を何とか解消したいという思いから始まった雑穀栽培も母ちゃんパワーで色々な商品化が進んでおり、田沢頭を代表する特産物として定着しつつある。

雑穀資源活用の取組



雑穀料理の研究



雑穀の商品化
タグネット(0238-62-4324)

小国町内の菓子店で雑穀を使ったお菓子が売られている。雑穀のヘルシーさを武器に今後の展開が期待される。

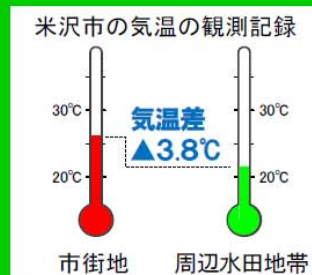


雑穀菓子職人 佐藤潤一さん
木村屋菓子店
小国町小坂町3-59
TEL 0238-62-2373



コラム

究極の節電対策 農村で暮らそう!!



7~9月の同日・同時間の気温の観測記録(農林水産省調べ)

水田の気候緩和機能

水田地帯では、水面からの蒸発や作物からの蒸散により、空気が冷却されている。これにより水田地帯の冷涼な空気は、風によって市街地に運ばれている。これらの作用から、水田は周辺市街地の夏季の気温上昇を抑制する機能を持っている。農村に暮らしてエコな生活を実践しよう。